長野原町埋蔵文化財調査報告　第45集

試掘確認調査集成

－水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第９集－

2020

群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

試掘確認調査集成　－水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第９集－
二〇二〇年
群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

長野原町埋蔵文化財調査報告　第 45 集

試掘確認調査集成

－水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告　第９集－

2020

群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

例　言

1．本書は平成16年度～平成31（令和元）年度に長野原町が水源地域整備事業に対応して実施した、試掘確認調査の報告書である。

2．本書に掲載した７地点は、本調査を実施するに至らなかった事業のものである。本書に掲載していないものは各事業の発掘調査報告書にて報告している。

3．発掘調査から調査報告書作成に至るまでの調査事業費は、水源地域対策特別措置法第12条による負担金並びに道路橋梁費補助金が充てられた。

4．各遺跡の所在地は本文中に記した。

5．本書作成にあたっての作業分担は以下の通りである。

編集・執筆：富田　　遺構写真撮影：富田　　図版作成：向出、藤野

6．調査において以下の項目を委託した。

表土掘削・埋め戻し：東光建設株式会社

測　　量：株式会社　測　研

7．本発掘調査における出土遺物ならびに図面・写真は長野原町教育委員会で保管している。

8．発掘調査、整理調査及び報告書作成にあたり、次の方々・団体から御指導・御協力を賜った（五十音別敬称略）。

麻生敏隆・石田真・小野利之・黒澤照弘・篠原敏洋・谷口康浩・藤巻幸男・古澤勝幸・向出博之・村上章義・山口逸弘・吉田智哉

株式会社歴史の杜・群馬県教育委員会・群馬県土地改良連合会・群馬県八ッ場ダム水源地域対策事務所・（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団・国土交通省八ッ場ダム工事事務所・長野原町役場（建設課・産業課・ダム対策課）

9．調査は長野原町教育委員会直営で実施した。

調査主体　長野原町教育委員会

平成16年４月～平成18年５月

調査組織	教 育 長	金子宥巻（～平成18年４月26日）
	社会教育課長	山口伸行
	課長補佐	樋口　正・白石光男
	係　　長	中村　剛・富田孝彦（平成18年４月～）
	主　　任	富田孝彦（～平成18年３月）
	調査参加者	市村勝美・柿本六美

平成18年６月～平成26年３月

調査組織	教 育 長	黒岩文夫（平成18年６月16日～）
	教育課長	中島　寛（～平成19年３月）・樋口　正（平成19年４月～平成21年３月） 山口伸行（平成21年４月～平成22年３月）・市村　敏（平成22年４月～）
	参　　事	山口伸行（～平成19年３月）
	社会教育GL	樋口　正（～平成19年３月）・白石光男（平成19年４月～）
	〃　副GL	白石光男（～平成19年３月）・中村　剛（平成19年４月～平成22年３月）

富田孝彦（平成22年４月～）

主　　任　　富田孝彦（～平成22年３月）

調査参加者　　柿本六美・佐々木忍・佐藤久美子・坂井春栄・向出治恵

平成26年４月～５月

調査組織　教 育 長　　黒岩文夫（～平成26年４月29日）

教育課長　　市村　敏（平成26年４月30日～平成26年５月31日　教育長職務代行者兼務）

教育課補佐　　白石光男

文化財係長　　富田孝彦

調査参加者　　柿本六美・坂井春栄・向出治恵

平成26年６月～平成27年３月

調査組織　教育課長　　矢野今朝治（平成26年６月１日～平成27年３月31日　教育長職務代行者兼務）

教育課補佐　　白石光男

文化財係長　　富田孝彦

調査参加者　　柿本六美・坂井春栄・向出治恵

平成27年４月～令和２年３月

調査組織　教 育 長　　市村隆宏

教育課長　　矢野今朝治（～平成30年３月31日）

佐藤　忍（平成30年４月１日～）

教育課補佐　　富田孝彦（文化財係長兼務　平成30年４月１日～　文化財保護対策室長）

文化財係　　市川勇気（社会教育係兼務　～平成30年12月31日）

細川剛史（地域おこし協力隊　平成29年４月１日～令和元年６月30日）

調査参加者　　柿本六美・坂井春栄・向出治恵・藤野麻子（令和元年８月１日～）

凡　例

1．本書で使用した地図は１：2500「長野原町都市計画図」（長野原町1994）、１：25000「長野原」・「大前」である。

2．挿図の方位は磁北を示す。

3．挿図中の土層図のレベルは各遺跡とも、現地表面レベルを基に任意で設定している。

4．挿図中の縮尺については、各挿図中に示してある。

5．堆積土層の色調については、「新版標準土色帖1995年後期版」（編・著小山正忠・竹原秀雄、監修農林水産省農林水産技術会議事務局、色票監修財団法人日本色彩研究所）の色名を参考にした。

6．挿図中のスクリントーン・記号は以下の通りである。

遺構・土層図

掘り込み　　地　山　　泥　流

軽　石

遺物

△ 釘穴　　▲ 釘穴　釘残留

目　次

例言
凡例
各遺跡の位置図 …… 1
第１章　水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財調査の概要…… 2
第２章　試掘確認調査および立会調査 …… 8
　１．長野原字町 …… 8
　２．長野原字坪井 …… 12
　３．横壁字西久保 …… 12
　４．山根Ⅳ遺跡 …… 14
　５．火打花Ⅰ遺跡 …… 15
　６．長野原字貝瀬 …… 17
　７．林字上原 …… 18
写真図版
報告書抄録

挿　図　目　次

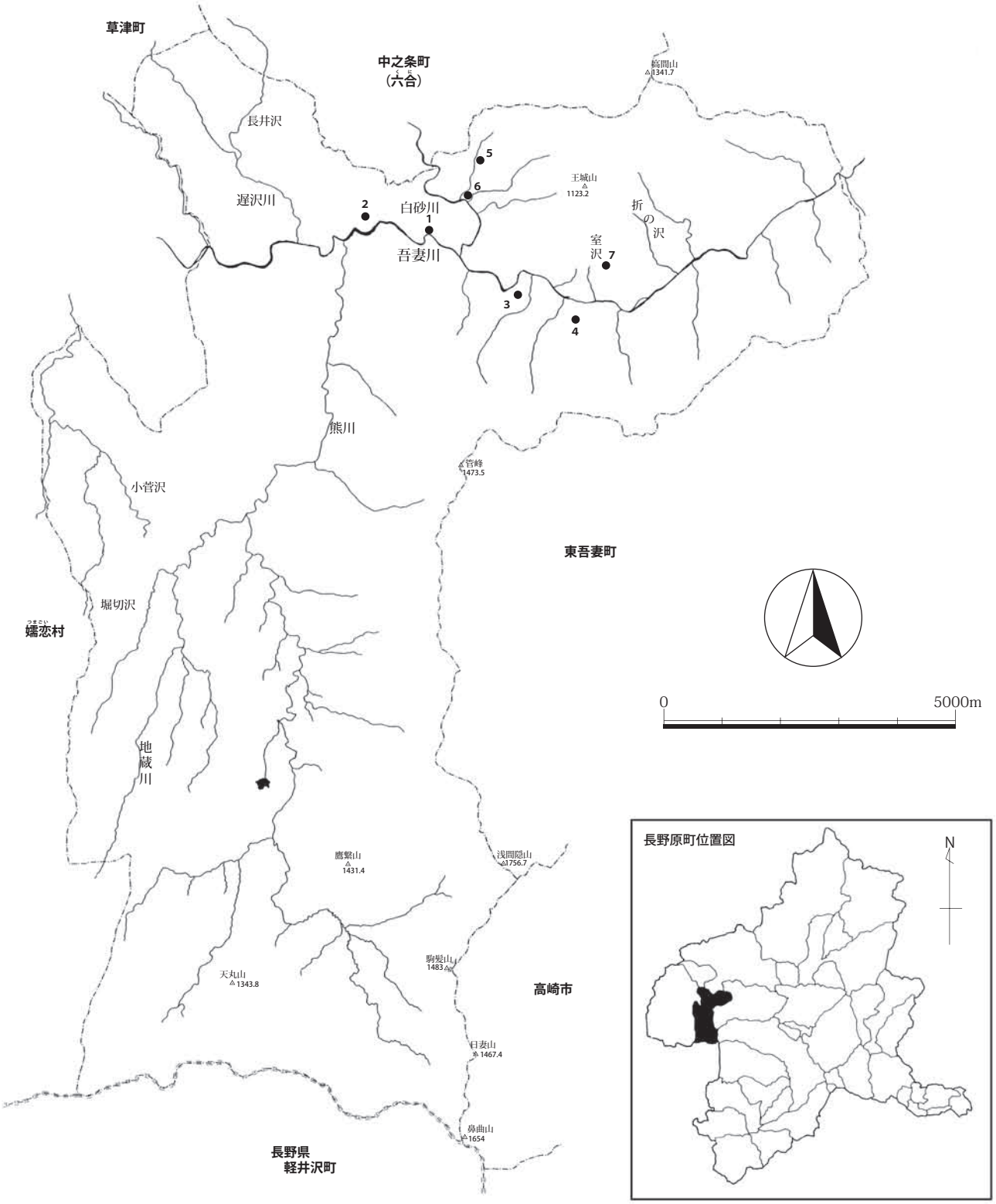
第１図　各遺跡の位置図（1/100,000）…… 1
第２図　調査地点位置図（1/5,000）…… 8
第３図　1-６地点トレンチ配置図（1/400）・土層図（1/20）…… 9
第４図　長野原字町出土遺物実測図１（1/6）…… 9
第５図　長野原字町出土遺物実測図２（1/6）…… 10
第６図　長野原字町出土遺物実測図３（1/3・1/4・1/2）…… 11
第７図　調査地点位置図（1/5,000）…… 12
第８図　調査地点位置図（1/5,000）…… 12
第９図　トレンチ配置図（1/400）・土層図（1/30）…… 13
第10図　調査地点位置図（1/5,000）…… 14
第11図　トレンチ配置図（1/1,000）…… 14
第12図　土層図（1/20）…… 15
第13図　山根Ⅳ遺跡出土遺物実測図（1/３）…… 15
第14図　調査地点位置図（1/5,000）…… 15
第15図　トレンチ配置図（1/500）・土層図（1/20）…… 16
第16図　火打花Ⅰ遺跡出土遺物実測図（1/4）（1/1）…… 17
第17図　調査地点位置図（1/5,000）…… 17
第18図　トレンチ配置図（1/500）・土層図（1/20）…… 18
第19図　調査地点位置図（1/5,000）…… 18
第20図　トレンチ配置図（1/400）・土層図（1/40）…… 19

表　目　次

第１表　長野原町水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財調査一覧…… 2
第２表　長野原字町出土遺物観察表…… 11
第３表　山根Ⅳ遺跡出土遺物観察表…… 15
第４表　火打花Ⅰ遺跡出土遺物観察表…… 17

図　版　目　次

【長野原字町】
PL１　１．1-1地点出土遺物
２．1-2地点（南東から）
３．石垣検出状況①（南東から）
４．石垣検出状況②（南西から）
PL２　１．石垣検出状況③（南西から）
２．石垣検出状況④（南東から）
３．1-3地点（南西から）
４．石碑発見場所（南西から）
５．石碑発見場所アップ（南から）
６．泥流堆積状況（東から）
PL３　１．湧水状況
２．吊り上げ状況
３．取り上げ状況
４．安置状況①（南から）
５．安置状況②（西から）
PL４　１．1-4地点（北東から）
２．1-5地点（南から）
PL５　１．1-5地点出土獣骨
２．1-6地点（南から）
PL６　１．二次堆積ローム（南から）
２．土層１（南東から）
３．土層２（北東から）
４．出土遺物①
PL７　１．出土遺物②
PL８　１．出土遺物③
【長野原字坪井】
２．長野原字坪井（南東から）
３．獣骨出土状況①（南東から）
４．獣骨出土状況②（南東から）
【横壁字西久保】
PL９　１．横壁字西久保（南から）
２．1トレ（北西から）
３．2トレ（北西から）
４．3トレ（北西から）
５．3トレ泥流・軽石検出状況（北西から）
PL10　１．3トレ土層１（南西から）
２．3トレ土層２（南西から）
３．3トレ炭化材出土状況
４．4トレ（北西から）
５．4トレ泥流・軽石検出状況（北西から）
６．4トレ土層（北東から）
７．5トレ（東から）
【山根Ⅳ遺跡】
PL11　１．山根Ⅳ遺跡（東から）
２．1トレ（東から）
３．1トレ土層1（南西から）
４．2トレ（西から）
５．2トレ土層（北東から）
PL12　１．3トレ（西から）
２．出土遺物
【火打花Ⅰ遺跡】
３．火打花Ⅰ遺跡１トレ（南西から）
４．2トレ（南西から）
５．1トレ土層１（北西から）
PL13　１．1トレ土層２（北西から）
２．1トレ土層３（北西から）
３．1トレ土層４（北西から）
４．2トレ土層１（北西から）
５．遺物出土状況①
６．遺物出土状況②
７．出土遺物
【長野原字貝瀬・林字上原】
PL14　１．長野原字貝瀬（南西から）
２．1トレ（南西から）
３．1トレ土層（北西から）
４．林字上原全景（北東から）
PL15　１．1トレ（南から）
２．1トレ土層（東から）
３．2トレ（南から）
４．2トレ土層（東から）
５．2トレ掘り込み（北から）



1. 長野原字町　2. 長野原字坪井　3. 横壁字西久保　4. 山根Ⅳ遺跡　5. 火打花Ⅰ遺跡　6. 長野原字貝瀬　7. 林字上原

第１図　各遺跡の位置図（1/100,000）

第１章　水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財調査の概要

浅間山の北東麓に位置する長野原町では、令和元年12月現在で225の包蔵地（指定文化財を含む）が把握されている。この地域内において開発行為が計画された場合、事業主体者と町教育委員会文化財保護対策室との間で埋蔵文化財に関する取り扱いの協議を行い、試掘確認調査を実施している。それによって明確な遺構・遺物が検出された場合、工事計画変更の協力のお願いをして現状で保存するか、やむを得ない場合は遺跡の破壊を前提とした記録保存（発掘調査）を行っている。

平成16年度から平成31（令和元）年度までの16年間で、長野原町における水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財調査は86件であった（第１表）。その内訳は本調査30遺跡、包蔵地内の確認調査42遺跡、包蔵地外の試掘調査７地点、立会調査10地点である。本書では試掘確認調査を経て本調査を実施するに至ったものを除いた７件の概要を報告する。

第１表　長野原町水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財調査一覧

番号	本書No.	調査年度	遺跡名	原因 種類	調査面積 （開発面積）	概要	備考
1	**1**	**平成16年度**	**長野原字町**	**公営下水道 立会調査**	**－㎡ （－㎡）**	**1-1では薬缶蓋・鉄鍋片出土。1-2では石垣検出。付近で石臼出土。1-3では「青面金剛塔」出土。1-4では建築部材、さらに南側の引き込み箇所1-5で桶蓋・台石が出土。**	**本報告**
2	**2**	**〃**	**長野原字坪井**	**公営下水道 立会調査**		**獣骨が出土。**	**本報告**
3	**3**	**平成17年度**	**横壁字西久保**	**町営住宅 試掘調査**	**222㎡ （2,800㎡）**	**天明畑・泥流天端**	**本報告**
4	―	〃	林字中原	町道林線 試掘調査	6㎡ (686.97㎡)	遺構・遺物なし	文献２・23・25
5	―	〃	林中原Ⅰ遺跡Ⅶ	町道林線 本調査	500㎡ (749.52㎡)	縄文後期住居１・土坑18	
6	―	〃	林字中原	町道林線 立会調査	140㎡ (140㎡)	遺構・遺物なし	
7	―	平成18年度	林中原Ⅰ遺跡Ⅸ	園芸施設 本調査	190㎡ (1,820㎡)	縄文後期前葉～中葉住居・配石遺構	文献３・26

8	—	〃	林字宮原	園芸施設 試掘調査	27㎡ (2,633㎡)	遺構・遺物なし	文献３・26
9	—	〃	東原Ⅲ遺跡Ⅱ	園芸施設 確認調査	8㎡ (1,219㎡)	遺構なし・縄文土器	
10	—	〃	上原Ⅰ遺跡	園芸施設 確認調査	37㎡ (1,130㎡)	遺構・遺物なし	
11	—	〃	林中原Ⅱ遺跡Ⅷ	園芸施設 確認調査	36㎡ (1,456㎡)	遺構・遺物なし	
12	—	〃	林字中原	園芸施設 試掘調査	36㎡ (622㎡)	遺構・遺物なし	
13	—	〃	林中原Ⅰ遺跡Ⅹ	園芸施設 確認調査	42㎡ (789㎡)	遺構なし・縄文土器	
14	—	〃	林宮原遺跡Ⅴ	園芸施設 確認調査	21㎡ (1,331㎡)	遺構・遺物なし	
15	—	〃	林中原Ⅱ遺跡Ⅸ	町道林線 確認調査	21㎡ (190.03㎡)	遺構・遺物なし	文献３・23・26
16	—	〃	東原Ⅰ遺跡Ⅱ	町営林土地改良 確認調査	83㎡ (5,120㎡)	縄文中期後半・晩期包含層	文献３・11・26
17	—	〃	上原Ⅰ遺跡Ⅱ①	町営林土地改良 確認調査	167㎡ (5,099㎡)	縄文中期後半住居・土坑、縄文前期～晩期包含層、平安住居	
18	—	〃	上原Ⅳ遺跡Ⅳ①	町営林土地改良 確認調査	145㎡ (2,842㎡)	縄文晩期・古墳時代包含層	
19	—	〃	上原Ⅱ遺跡①	町営林土地改良 確認調査	311㎡ (31,000㎡)	縄文中期後半土坑・包含層	
20	—	〃	中棚Ⅰ遺跡Ⅱ①	町営林土地改良 確認調査	72㎡ (820㎡)	縄文早期後半包含層・平安住居	
21	—	〃	林宮原遺跡Ⅵ	町営林土地改良 確認調査	204㎡ (2,210㎡)	平安住居・溝状遺構	
22	—	〃	林中原Ⅰ遺跡ⅩⅠ	町営林土地改良 確認調査	436㎡ (2,541㎡)	縄文中期後半～後期包含層、後期初頭住居、中近世溝状遺構	
23	—	〃	林中原Ⅱ遺跡Ⅹ	町営林土地改良 確認調査	83㎡ (875㎡)	縄文中期後半包含層・土坑、平安陥し穴	
24	—	〃	上原Ⅲ遺跡	町営林土地改良 確認調査	550㎡ (4,296㎡)	平安包含層・鍛冶関連遺構	
25	**4**	**平成19年度**	**山根Ⅳ遺跡**	**町道7-20号線 確認調査**	**156㎡ (2,120㎡)**	**縄文中期後半包含層**	**本報告**
26	—	〃	林中原Ⅰ遺跡ⅩⅣ	町道林線 本調査	165㎡ (760㎡)	縄文中期後半住居２・土坑15	文献４・23・27
27	—	〃	林中原Ⅱ遺跡ⅩⅠ	町道林線 本調査	200㎡ (728㎡)	縄文中期中葉住居１・土坑１、近世墓２	
28	—	〃	向原遺跡Ⅲ	町道長野原向原線 確認調査	352㎡ (627㎡)	遺構・遺物なし	文献４・16・27
29	—	平成20年度	林中原Ⅰ遺跡ⅩⅥ	町道林線 本調査	340㎡ (825㎡)	縄文中期末～後期前葉包含層・土坑	文献５・23・28

30	―	〃	長野原字向原	町道長野原向原線 試掘調査	60㎡ (450㎡)	遺構・遺物なし	文献５・ 16・28
31	―	平成21年度	幸神遺跡	園芸施設 確認調査	245㎡ (500㎡)	縄文中期中葉包含層	文献６・29
32	**5**	**平成22年度**	**火打花Ⅰ遺跡**	**林道貝瀬線 確認調査**	**69㎡ (539㎡)**	**遺構なし**	**本報告**
33	**6**	**〃**	**長野原字貝瀬**	**林道貝瀬線 試掘調査**	**6.8㎡ (644㎡)**	**遺構・遺物なし**	**本報告**
34	―	平成23年度	上原Ⅱ遺跡②	町営林土地改良 本調査	3,026㎡ (4,695㎡)	縄文中期初頭竪穴状遺構３・焼土遺構５・土坑21・不明遺構１・包含層１、平安陥し穴３、時期不明土坑53・ピット９	文献８・ 11・31
35	―	〃	上原Ⅲ遺跡Ⅱ②	町営林土地改良 本調査	8,955㎡ (23,012㎡)	縄文前期末～後期前葉土坑2、弥生時代中期前半土坑２、平安鍛冶工房１・住居11・焼土遺構６・陥し穴29・土坑11、中世竪穴状遺構１、近世以降墓１・自然流路５、時期不明土坑126・ピット131	
36	―	〃	尾坂遺跡①	町道林長野原線 確認調査	30㎡ (3,000㎡)	旧貨物施設（駅舎か）・天明泥流	文献８・ 22・31
37	―	〃	林字宮原	町道林線 試掘調査	11㎡ (398㎡)	遺構・遺物なし	文献８・ 23・31
38	―	〃	中棚Ⅰ遺跡Ⅱ②	町営林土地改良 本調査	1,662㎡ (3,598㎡)	縄文土坑２、平安住居４、時期不明土坑17・ピット57	文献８・ 11・31
39	―	平成24年度	林宮原遺跡Ⅸ	町道林線 確認調査	33㎡ (270㎡)	遺構なし・土師器	文献９・ 23・32
40	―	〃	上原Ⅰ遺跡Ⅱ②	町営林土地改良 本調査	4,312㎡ (6,258㎡)	縄文前期初頭住居9、中期後半住居4・土坑2・ピット（石器埋納）1、弥生前期末土坑1、古墳前期住居1、中期土坑1、平安住居12・陥し穴59・焼土遺構5、近世近代土坑4・焼土遺構5、時期不明住居1・土坑50・焼土遺構3・ピット62ほか	文献９・ 11・32
41	―	〃	上原Ⅳ遺跡Ⅳ②	町営林土地改良 本調査	3,106㎡ (3,768㎡)	縄文中期初頭土坑1、後期前葉住居1・土坑2・埋没谷1、古墳後期住居2、平安住居2、時期不明焼土遺構4・土坑11・ピット9・旧河川1・流路跡8ほか	

42	—	〃	長野原城跡	町道長野原線 本調査	110㎡ (190㎡)	近世天明畑1	文献９・ 17・32
43	—	〃	嶋木Ⅰ遺跡Ⅲ	町道長野原線 試掘調査	36.96㎡ (2,447㎡)	近世天明畑	
44	—	〃	長野原城跡Ⅱ	町道長野原線 確認調査	53.6㎡ (4,440㎡)	遺構・遺物なし	
45	—	〃	東貝瀬Ⅲ遺跡	町道長野原線 確認調査	19.36㎡ (1,025㎡)	近世天明畑	
46	—	平成25年度	林中原Ⅰ遺跡XⅠ	町営林土地改良 本調査	4,013㎡ (4,865㎡)	縄文中期～後期土坑61・ピット70、平安陥し穴5、中近世掘立柱建物7・柱列1・土壙墓１・地下式坑1・土坑78・ピット594・溝跡12・平坦面（曲輪か）1・水場遺構1、近代焼土遺構2、時期不明土坑2・谷地形１	文献10・ 11・33
47	—	〃	林中原Ⅱ遺跡X	町営林土地改良 本調査	2,071㎡ (3,805㎡)	縄文中期後半住居1、中近世掘立柱建物1・礎石建物1・柱列1・土坑39・ピット82・自然流路2、時期不明埋没谷1	
48	—	〃	嶋木Ⅰ遺跡Ⅲ	町道長野原線 本調査	1,130㎡ (2,447㎡)	近世天明畑10・礎石建物１、近代ガータ橋橋台石積１	文献10・ 17・33
49	—	〃	東貝瀬Ⅲ遺跡	町道長野原線 本調査	250㎡ (1,025㎡)	近世天明畑3	
50	—	〃	尾坂遺跡②	町道林長野原線 本調査	64.9㎡ (1,672㎡)	近現代礎石建物1・排水溝1・排水桝1・石垣1	文献10・ 22・33
51	—	〃	嶋木Ⅰ遺跡Ⅳ①	町道長野原線 確認調査・本調査	123・299㎡ (4,406㎡)	近世天明畑4	文献10・ 17・33
52	—	〃	町遺跡	町道長野原向原線 確認調査・本調査	32・110㎡ (1,147㎡)	近世礎石建物1・天明畑１・溝跡７・炉跡１	文献10・ 16・33
53	**1**	**〃**	**長野原字町**	**公営下水道 立会調査**	**10㎡ (81㎡)**	**遺構・遺物なし**	**本報告**
54	—	〃	嶋木Ⅰ遺跡Ⅳ②	町道長野原線 本調査	83㎡ (152㎡)	近世天明期のテラス２段・道か	文献10・ 17・33
55	—	〃	嶋木Ⅰ遺跡Ⅳ③	町道長野原線 確認調査	67㎡ (1500㎡)	遺構・遺物なし 天明泥流天端確認	
56	—	〃	長野原字橋場	町道林長野原線 試掘調査	14㎡ (㎡)	遺構・遺物なし 天明泥流確認	文献10・ 22・33
57	—	〃	尾坂遺跡Ⅱ	町道林長野原線 立会調査	７㎡ (㎡)	遺構・遺物なし 天明泥流確認	
58	—	平成26年度	東貝瀬Ⅲ遺跡Ⅱ	町道長野原線 確認調査	36㎡ (255㎡)	遺構なし。縄文土器・土師器出土。	文献12・ 17・34

59	—	〃	嶋木Ⅰ遺跡Ⅳ	町道長野原線 本調査	193㎡ (385㎡)	近世天明畑３	文献12・ 17・34
60	—	〃	嶋木Ⅰ遺跡Ⅴ	町道長野原線 本調査	980㎡ (1,414㎡)	近世天明畑11・溝４・ヤックラ３・復旧溝６	
61	—	〃	嶋木Ⅱ遺跡	町道長野原線 確認調査	20㎡ (630㎡)	遺構・遺物なし	
62	**7**	**〃**	**林字上原**	**東部簡水配水池 試掘調査**	**30㎡ (659㎡)**	**遺構・遺物なし**	**本報告**
63	—	〃	長野原字嶋木 （岩陰地形）	町道長野原線 試掘調査	６㎡ (1,089㎡)	遺構・遺物なし	文献12・ 17・34
64	—	〃	東原Ⅰ遺跡Ⅳ	源泉ポンプ施設 確認調査	35㎡ (390㎡)	遺構なし。弥生土器・陶磁器出土。	文献12・34
65	—	平成28年度	林宮原遺跡Ⅹ	町道林線 確認調査	50㎡ (719㎡)	遺構・遺物なし	文献14・ 23・36
66	—	〃	町遺跡Ⅲ	町道長野原向原線 確認調査・本調査	40㎡ (46.9㎡)	近世屋敷跡・井戸・溝など	文献14・ 16・36
67	—	〃	西久保Ⅱ遺跡①	町営横壁土地改良 確認調査	114㎡ (10,611㎡)	土坑・陥し穴・溝状遺構	文献15・ 19・37
68	—	平成29年度	林宮原遺跡ⅩⅠ①	町道林線 確認調査	256㎡ (346㎡)	平安住居・土坑（陥し穴）・焼土遺構	文献15・ 23・37
69	—	〃	山根Ⅲ遺跡Ⅲ①	町営横壁土地改良 確認調査	276㎡ (11,000㎡)	縄文土坑	文献15・ 19・37
70	—	〃	山根Ⅳ遺跡Ⅱ①	町営横壁土地改良 確認調査	220.95㎡ (4,400㎡)	縄文中期前半土坑、平安住居・製鉄遺構	
71	—	〃	上野Ⅱ遺跡①	町営横壁土地改良 確認調査	395.7㎡ (11,000㎡)	縄文住居・土坑、平安陥し穴・焼土遺構	
72	—	〃	上野Ⅰ遺跡①	町営横壁土地改良 確認調査	350.6㎡ (8,000㎡)	平安住居・陥し穴、縄文・弥生土器も出土	
73	—	〃	横壁勝沼Ⅱ遺跡①	町営横壁土地改良 確認調査	127.5㎡ (3,000㎡)	平安焼土遺構、弥生土器出土	
74	—	〃	横壁勝沼Ⅲ遺跡①	町営横壁土地改良 確認調査	117.7㎡ (2,000㎡)	陥し穴、縄文土器出土	
75	—	〃	林宮原遺跡ⅩⅠ②	町道林線 確認調査	31㎡ (㎡)	遺構・遺物なし	文献15・ 23・37
76	—	〃	西久保Ⅱ遺跡②	町営横壁土地改良 本調査	1,540㎡ (4,600㎡)	時期不明土坑20（陥し穴１）・ピット55・溝２	文献15・ 19・37
77	—	〃	山根Ⅳ遺跡Ⅱ②	町営横壁土地改良 本調査	3,175㎡ (4,400㎡)	縄文竪穴状遺構６・土坑２基、平安住居４・竪穴状遺構４・遺物集中２、時期不明ピット27・土坑27	

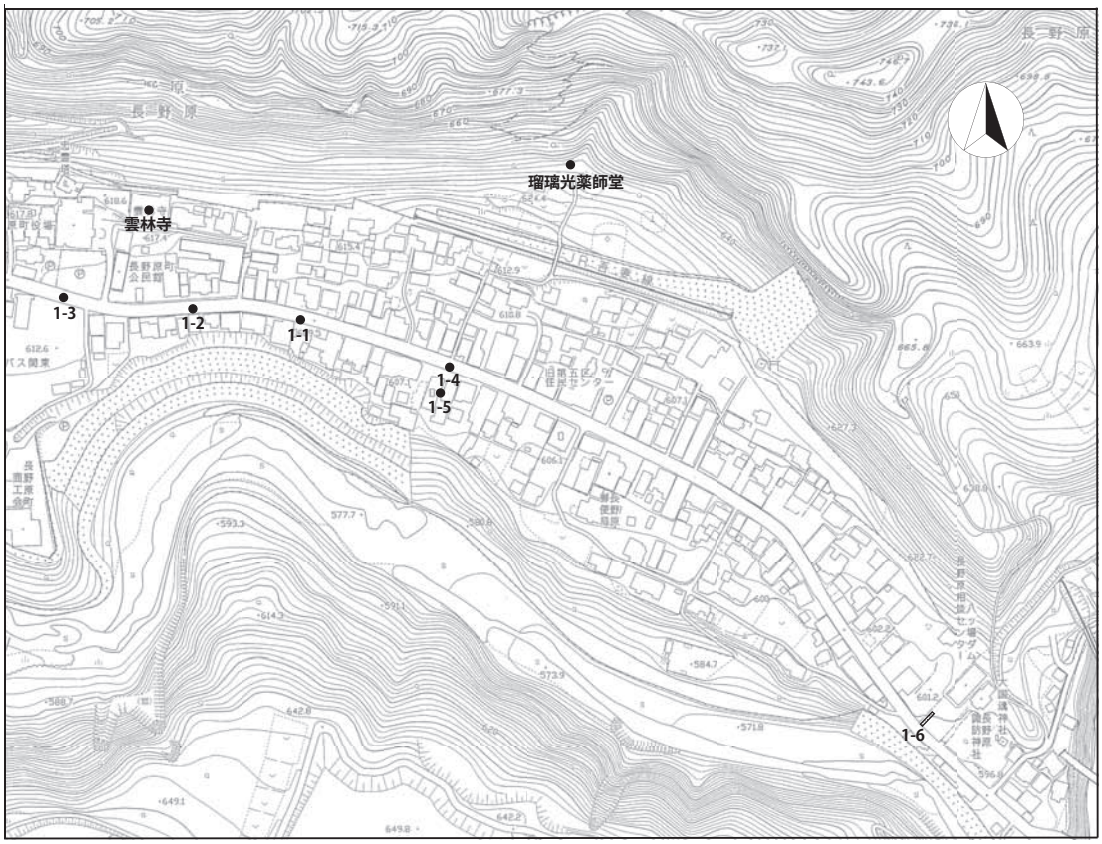
78	―	平成30年度	上野Ⅰ遺跡②	町営横壁土地改良本調査	6,378㎡(8,000㎡)	縄文晩期土坑10、平安住居５・陥し穴33	文献18・19・38
79	―	〃	横壁勝沼Ⅲ遺跡②	町営横壁土地改良本調査	1,837㎡(2,000㎡)	平安住居１・陥し穴１、近世石積遺構４・水田１	
80	―	〃	横壁勝沼Ⅱ遺跡②	町営横壁土地改良本調査	1,634㎡(3,000㎡)	平安陥し穴12	
81	―	〃	上野Ⅱ遺跡②	町営横壁土地改良本調査	10,540㎡(11,000㎡)	縄文中期住居２・埋甕１、弥生土坑１、平安住居４・掘立柱建物１・陥し穴88・土坑６	
82	―	〃	山根Ⅲ遺跡Ⅲ②	町営横壁土地改良本調査	6,419㎡(11,000㎡)	縄文早期土坑９、平安陥し穴４	
83	―	〃	山根Ⅴ遺跡	町営横壁土地改良本調査	88㎡(－㎡)	縄文中期石組遺構１	
84	―	〃	林中原Ⅰ遺跡XⅧ①	町営団地確認調査	150㎡(1,000㎡)	縄文土坑	文献18・21・38
85	―	平成31（令和元）年度	林中原Ⅰ遺跡XⅧ②	町営団地本調査	370㎡(1,000㎡)	縄文後期遺物集中１・土坑５、時期不明土坑24・溝１	
86	―	〃	山根Ⅲ遺跡Ⅳ	農業経営近代化施設　本調査	700㎡(1,000㎡)	縄文土坑３、平安陥し穴４	文献20

参考文献（第１表の文献番号に対応）

番号
1.　長野原町教育委員会　2005　『町内遺跡Ⅴ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 15 集
2.　長野原町教育委員会　2006　『町内遺跡Ⅵ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 16 集
3.　長野原町教育委員会　2008　『町内遺跡Ⅶ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 17 集
4.　長野原町教育委員会　2009　『町内遺跡Ⅷ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 18 集
5.　長野原町教育委員会　2010　『町内遺跡Ⅸ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 19 集
6.　長野原町教育委員会　2011　『町内遺跡Ⅹ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 21 集
7.　長野原町教育委員会　2012　『町内遺跡ⅩⅠ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 22 集
8.　長野原町教育委員会　2013　『町内遺跡ⅩⅡ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 25 集
9.　長野原町教育委員会　2013　『町内遺跡ⅩⅢ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 27 集
10.　長野原町教育委員会　2014　『町内遺跡ⅩⅣ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 28 集
11.　長野原町教育委員会　2015　『林地区遺跡群』長野原町埋蔵文化財調査報告第 30 集
12.　長野原町教育委員会　2016　『町内遺跡ⅩⅤ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 31 集
13.　長野原町教育委員会　2017　『町内遺跡ⅩⅥ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 32 集
14.　長野原町教育委員会　2018　『町内遺跡ⅩⅦ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 33 集
15.　長野原町教育委員会　2019　『町内遺跡ⅩⅧ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 35 集
16.　長野原町教育委員会　2019　『長野原地区遺跡群』長野原町埋蔵文化財調査報告第 36 集
17.　長野原町教育委員会　2019　『長野原地区遺跡群（２）』長野原町埋蔵文化財調査報告第 37 集
18.　長野原町教育委員会　2020　『町内遺跡ⅩⅨ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 38 集
19.　長野原町教育委員会　2020　『横壁地区遺跡群』長野原町埋蔵文化財調査報告第 39 集
20.　長野原町教育委員会　2020　『山根Ⅲ遺跡Ⅳ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 41 集
21.　長野原町教育委員会　2020　『林中原Ⅰ遺跡XⅧ』長野原町埋蔵文化財調査報告第 42 集
22.　長野原町教育委員会　2020　『尾坂遺跡』長野原町埋蔵文化財調査報告第 43 集
23.　長野原町教育委員会　2020　『林地区遺跡群（２）』長野原町埋蔵文化財調査報告第 44 集
24.　（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2005　『年報 24』
25.　（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2006　『年報 25』
26.　（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2007　『年報 26』
27.　（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2008　『年報 27』
28.　（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2009　『年報 28』
29.　（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2010　『年報 29』
30.　（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2011　『年報 30』
31.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2012　『年報 31』
32.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2013　『年報 32』
33.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2014　『年報 33』
34.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2015　『年報 34』
35.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2016　『年報 35』
36.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2017　『年報 36』
37.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2018　『年報 37』
38.　（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2019　『年報 38』

第２章　試掘確認調査および立会調査

１．長野原字町



第２図　調査地点位置図（1/5,000）

（１）所在地　　長野原町大字長野原字町

（２）開発事業名　公営長野原町下水道整備事業

（３）調査期間　　平成16年４月18日（1-1地点）、４月22日（1-2地点）、5月28日（1-3地点）
平成16年６月23日（1-4地点）、　平成17年１月24・26日（1-5地点）、
平成25年10月29日（1-6地点）

（４）開発総面積　－㎡

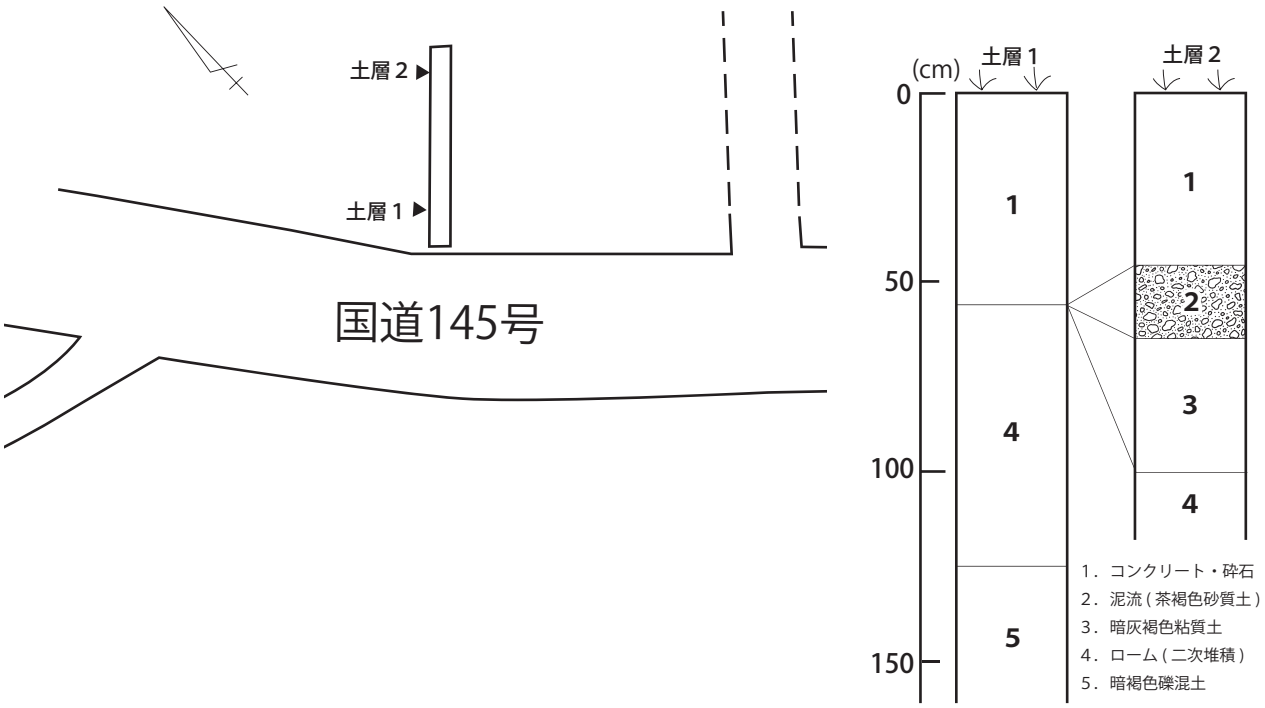
（５）調査面積　　－㎡

（６）調査概要

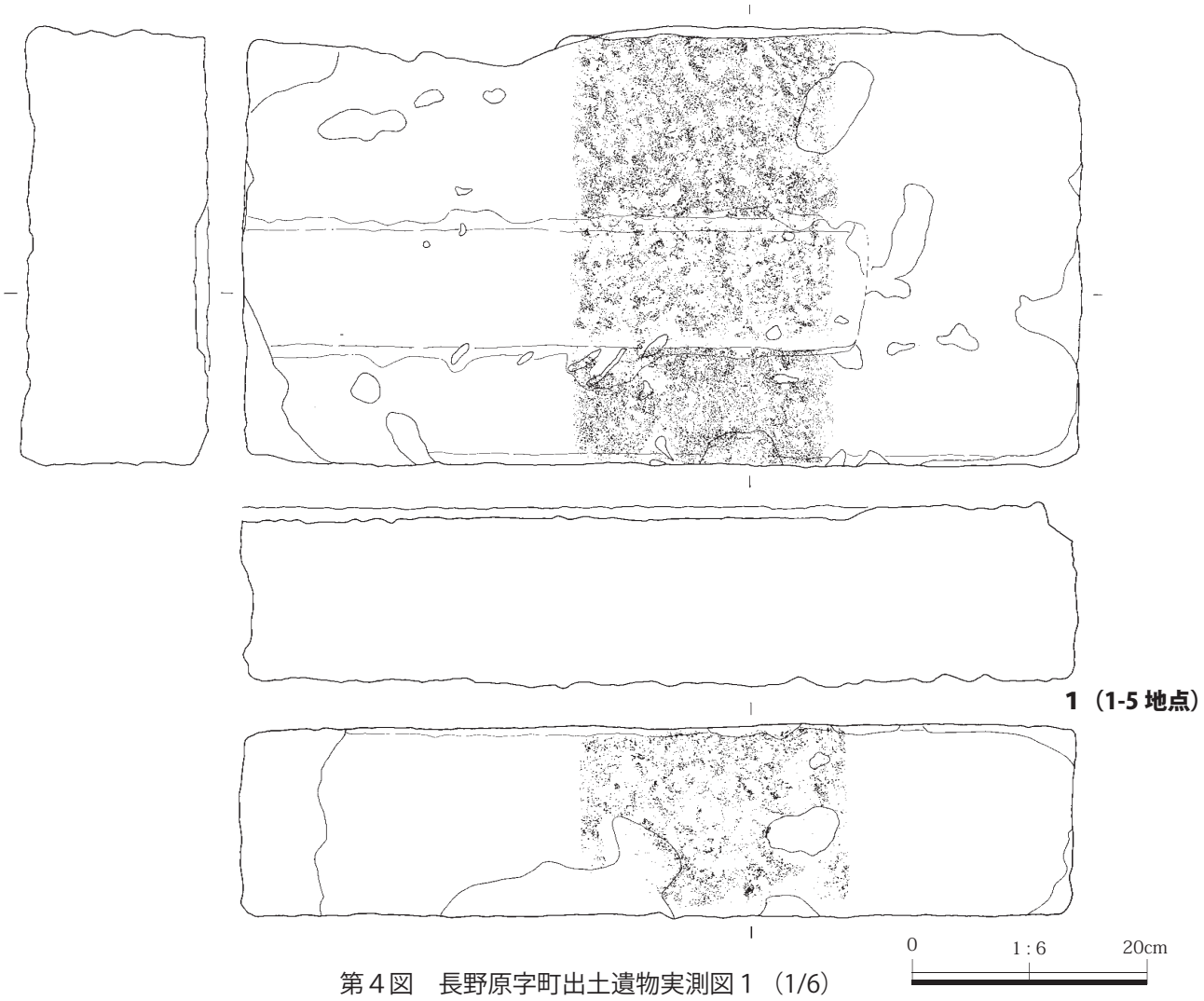
対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の左岸段丘上に位置する。標高は600～614ｍ位である。当時は周知の包蔵地外で、現道下の工事だったため、何か発見されると教育委員会へ連絡が来てその度に立会うかたちであった。この頃には天明３（1783）年に浅間山大噴火に伴って発生した泥流被害の一端が各所で発見され始めており、文献でも長野原の被害者が鎌原に次ぐ人数であったことは把握していた。そのためか工事現場の作業員から地元の方まで幅広くご連絡をいただいた。

（７）調査所見

1-1地点：現地は埋め戻された後だったが、地元の方が出土遺物を保管していた。銅製の薬缶蓋（第６図６）と鉄釜片（第６図７）で、いずれも江戸時代の所産である。



第３図　1-6地点トレンチ配置図（1/400）・土層図（1/20）



第４図　長野原字町出土遺物実測図１（1/6）

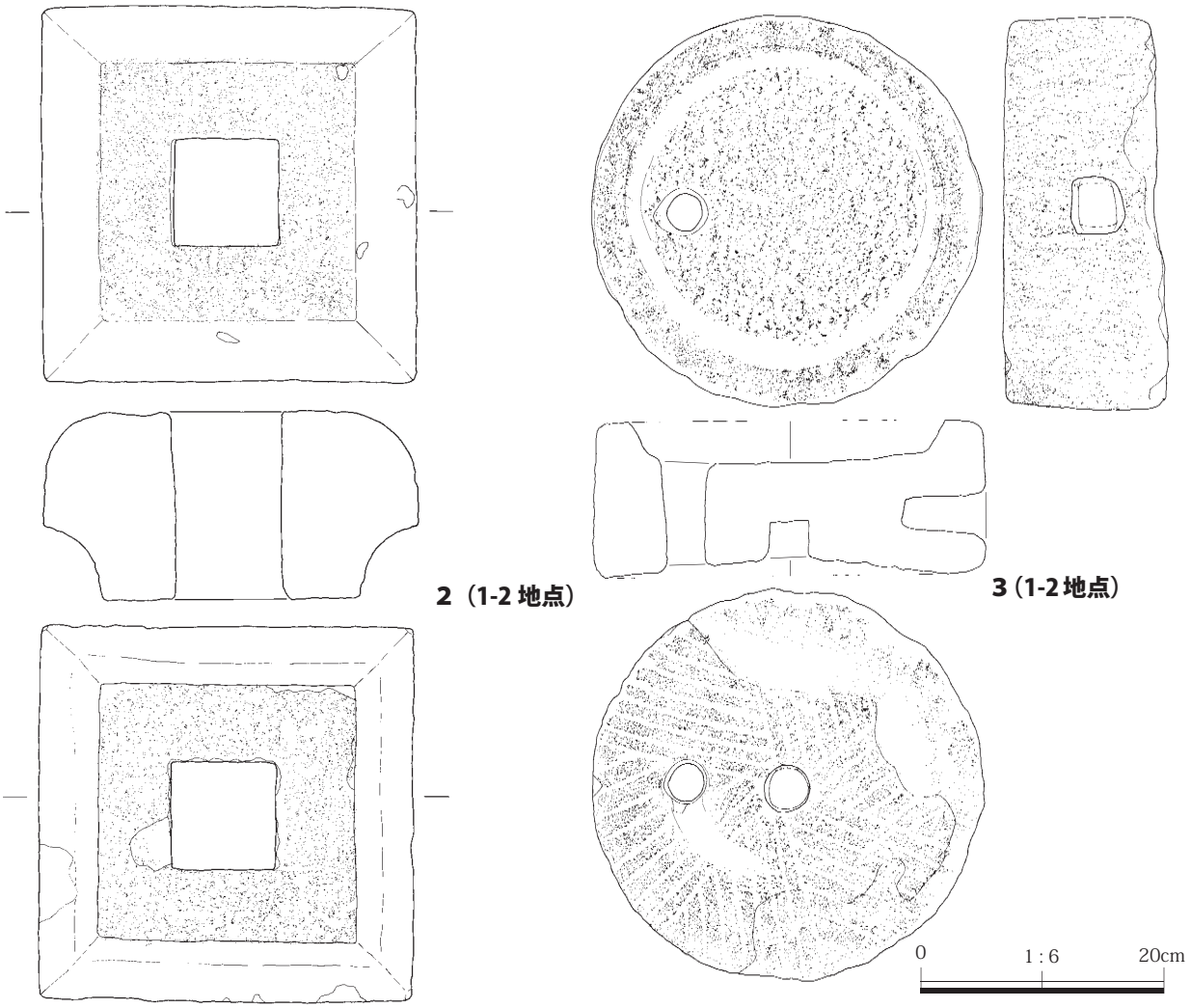
1-2地点：工事中に石垣が検出されたと工事会社から連絡があった。また近くから石臼（第５図３）が出土したと工事関係者に提供された。

1-3地点：旧役場駐車場前で石造物が発見されたとの連絡を受ける。現道下140㎝の泥流中から出土。石造物は「青面金剛塔」で塔の右側面には「明和五年戊子歳」と彫られており、天明３年の15年前の1768年に建立されたことが分かる。もともと何処に設置されていたかは不明であるが雲林寺のご厚意により参道脇に安置された。規模は高さ約158㎝、幅約75㎝、厚さ約38㎝を測る。

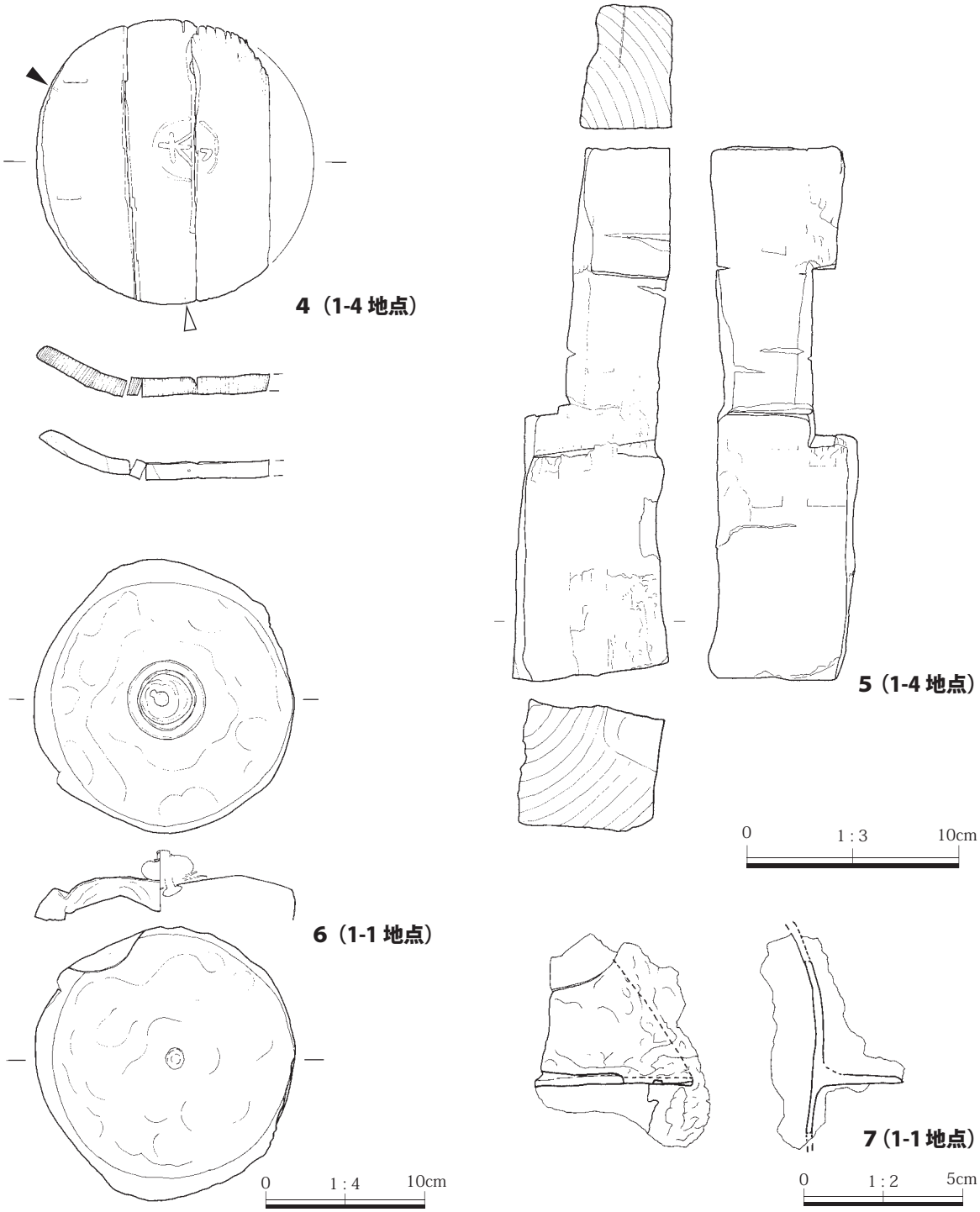
1-4地点：かみつけ信用組合（現ぐんまみらい信用組合）前で木製遺物２点出土（第６図４・５）。工事会社から連絡を受ける。桶蓋と建築部材と考えられる。桶蓋には墨書きが認められる。

1-5地点：かみつけ信用組合（現ぐんまみらい信用組合）前から個人宅へ下水道管の繋ぎ込み工事で獣骨と基礎石（第４図１）が出土。獣骨は馬の大腿骨と考えられた。基礎石は上に石碑等を受けるための凹部が造り出されており、同じ大きさのものと合わせて使用するものと考えられる。

1-6地点：長野原諏訪神社の北西隣り、長野原区事務所への下水道管の繋ぎ込み工事に立会。遺構の有無と土層の堆積状況を確認した。その結果、顕著な遺構・遺物は確認されなかったので下水道工事に際して文化財保護的に支障はないと判断した。対象地は周知



第５図　長野原字町出土遺物実測図２（1/6）



第６図　長野原字町出土遺物実測図３（1/3・1/4・1/2）

第２表　長野原字町 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）（cm）	特　　徴（形態・手法等）	焼成・木取り等	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考
4-1	6	石製品・基礎石か	長70.6／幅36.9／厚16.0	重量65.2kg。上面は平滑、下面は粗く、斜めに叩いた成形痕あり。上面と正面の角は丸みを帯びる。	―	粗粒輝石安山岩	―	1-5地点
5-2	7	石製品・灯籠	幅30.8／厚15.5	重量21.7kg。石灯籠の中段か。	―	粗粒輝石安山岩	―	1-2地点
5-3	7	石製品・碾臼・上臼	径31.9／厚12.6	重量18.2kg。上縁高3.4cm、上縁幅3.1cm、ふくみ1.1cm、芯穴径3.2cm、供給口径3.6cm、挽き手径4.7cm、挽き手深6.2cm、底径32.1cm。	―	粗粒輝石安山岩	―	1-2地点
6-4	7	木製品・曲物底板か	径13.4／厚0.9	「木」の焼き印。木釘２ヶ所。周囲は上下面取り。	柾目	ヒノキ	―	残存率80%　1-4地点
6-5	7	木製品・建築部材	長25.1／幅7.0／厚6.3	上部側面は面取り。凹部にのみ痕あり。	芯去材	クリ	―	1-4地点
6-6	8	銅製品・蓋	径16.2／厚4.4	肩部径15.2cm。つまみ付き。薬缶の蓋か。	―	銅	―	完存　1-1地点
6-7	8	鉄製品・釜	長5.3／幅2.9／厚0.25	鉄釜の羽部分か。全体に錆び。	―	鉄	―	1-1地点

の包蔵地にはなっていないが、包蔵地の隣接地域および天明泥流の到達地域ということから立会調査を実施した。土層１・２ともに通常ローム上面に堆積する暗褐色土が削平されており、土層２では天明泥流下で暗灰褐色粘土層の堆積のある溝状の落ち込みを検出したが、遺構ではなく自然流路と判断した。

２．長野原字坪井

（１）所在地　　長野原町大字長野原字坪井
（２）開発事業名　下水道整備事業
（３）調査期間　　平成17年２月5日
（４）開発総面積　－㎡
（５）調査面積　　－㎡

第７図　調査地点位置図（1/5,000）

（６）調査概要

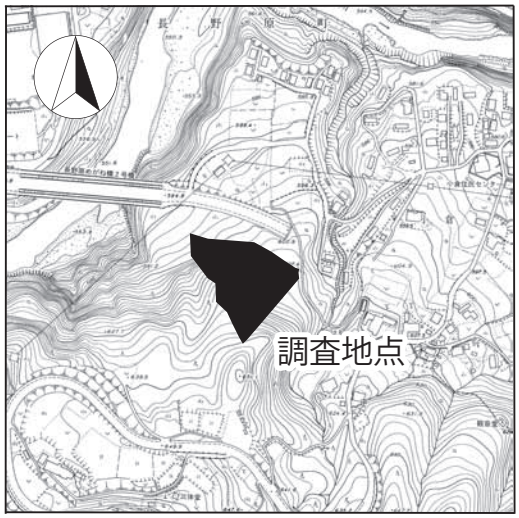
対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の左岸段丘上に位置する。標高は630ｍ位である。対象地は周知の包蔵地外であるが「小林家屋敷跡（№211）」の隣接地である。工事中に獣骨が発見されたとの通報を受けて立会調査を実施した。

（７）調査所見

下水道工事現場へ赴くと、現道路下１ｍほどで獣骨が出土していた。泥流中の出土ではあったが、攪乱との区別が付きにくく、帰属時期は不明である。獣骨は記録写真撮影後に居合わせた人達と供養してから取り上げた。

獣骨は故楢崎修一郎氏の所見では「イノシシの下顎」との事であった。

３．横壁字西久保



（１）所在地　　長野原町大字横壁字西久保40-6
（２）開発事業名　町営住宅
（３）調査期間　　平成17年４月26日
（４）開発総面積　2,800㎡
（５）調査面積　　222㎡

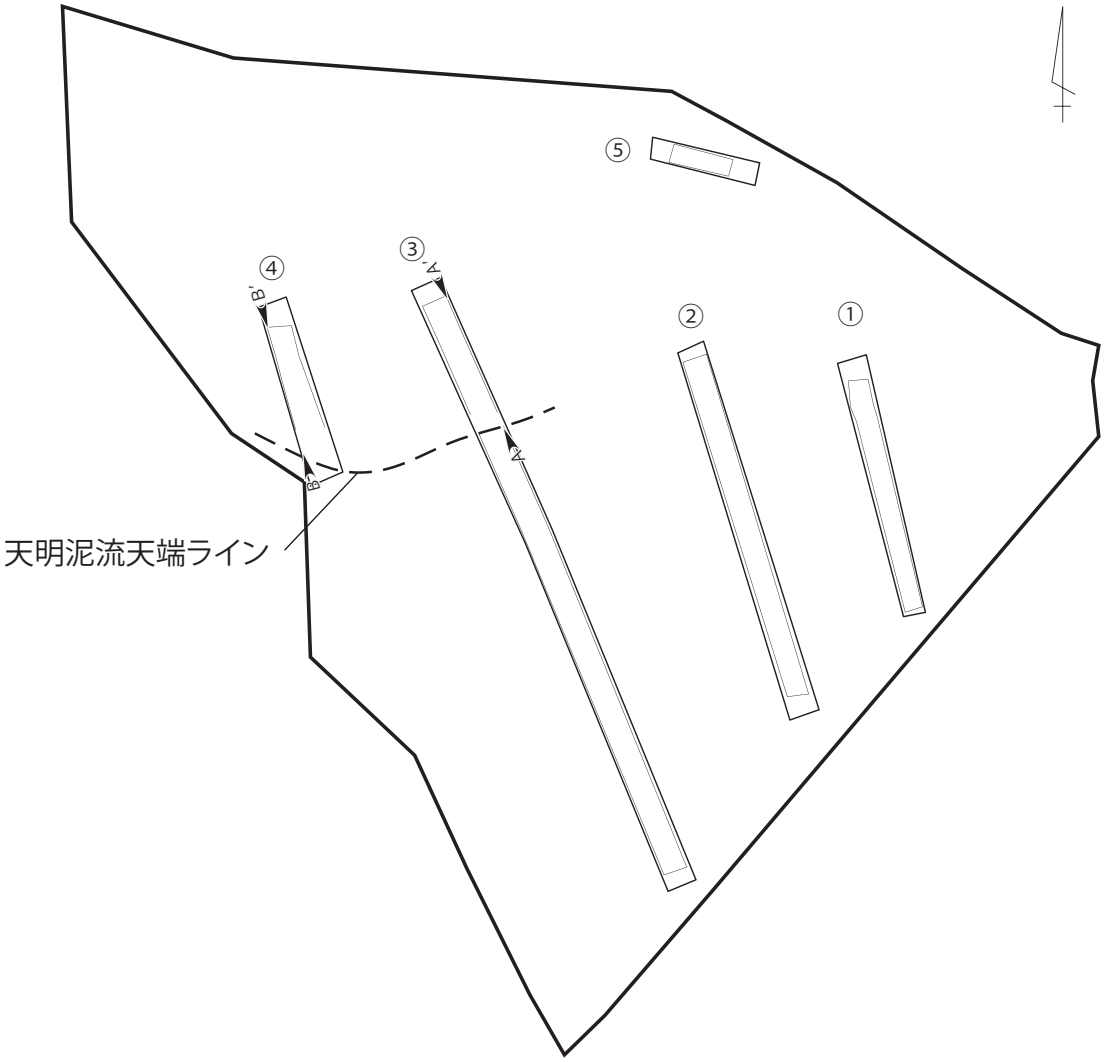
第８図　調査地点位置図（1/5,000）

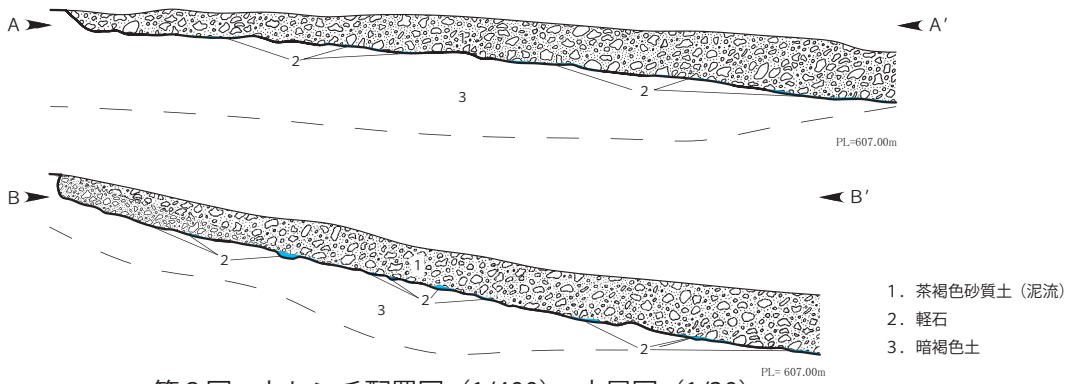
（6）調査概要

対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の右岸段丘上に位置する。標高は592～620m位である。対象地は周知の包蔵地外であったが「西久保Ⅰ遺跡（№31）」や「尾坂遺跡（№201）」の隣接地であることから開発事業主と協議し、試掘調査を行うこととなった。町営住宅建設予定地に５本のトレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。

（7）調査所見

３～５トレで天明３年（1783）に浅間山大噴火に伴って発生した泥流および軽石が検出された。





第９図　トレンチ配置図（1/400）・土層図（1/30）

特に３・４トレでは泥流の逆流（オーバーフロー）によって乗り上げた天端が確認され、初めて泥流の範囲を視覚的に把握することができた。断面観察では畑跡と確認されたが、当地区では㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団による天明畑の調査事例があったため、この時点では土層堆積図の作成、平面図にトレンチ位置と泥流範囲を記録して調査終了とした。なお、この調査結果を踏まえて「西久保Ⅳ遺跡（№216）」として周知の包蔵地に新規登録した。

４．山根Ⅳ遺跡

（１）所在地　長野原町大字横壁字山根
348-1, 346-1, 390-1, 320-1
（２）開発事業名　町道７-20号線敷設工事
（３）調査期間　平成19年７月10・11日
（４）開発総面積　2,120㎡
（５）調査面積　156㎡

第10図　調査地点位置図（1/5,000）

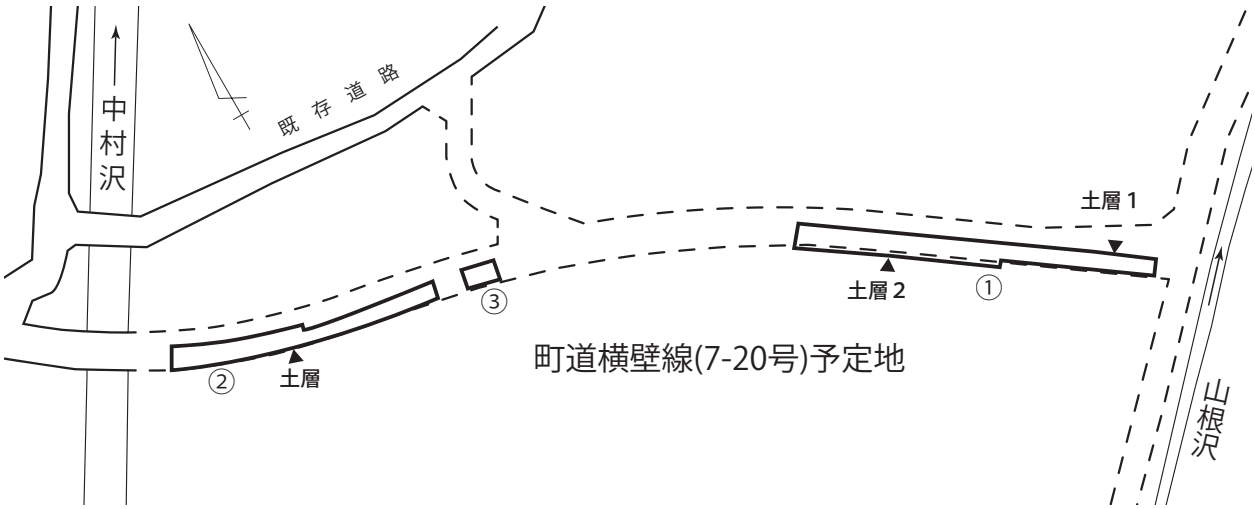
（６）調査概要

対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の右岸段丘上に位置する。標高は615～622m位である。対象地は周知の包蔵地「山根Ⅳ遺跡（№30）」の範囲内であることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。町道敷設予定地内の掘削箇所に３本の試掘抗（トレンチ）を設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。

（７）調査所見

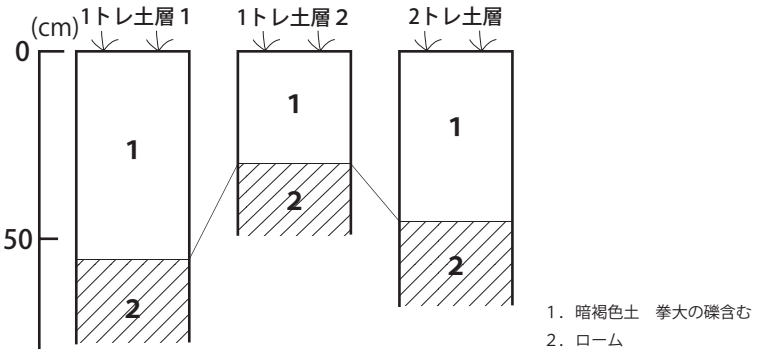
対象地には顕著な遺構は検出されなかったので、文化財保護的には町道敷設工事に支障はないと判断した。

対象地は北に傾斜する斜面地で南側半分を掘削し、北側半分を盛土して（２m以下）道路を敷設

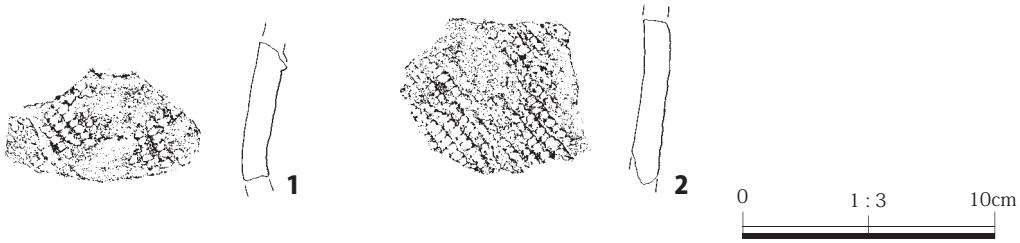


第11図　トレンチ配置図（1/1,000）

する計画となっていた。従って掘削される南側半分を中心に地盤まで下げて遺構の有無を確認した。２トレでは地盤の安定した中央付近で縄文時代中期後半の土器片が数点出土したことから、その周辺を精査したが顕著な遺構は確認されなかった。１～３トレのいずれも安定した地盤は少なく、山押しによると考えられる礫が顕著であった。



第12図　土層図（1/20）

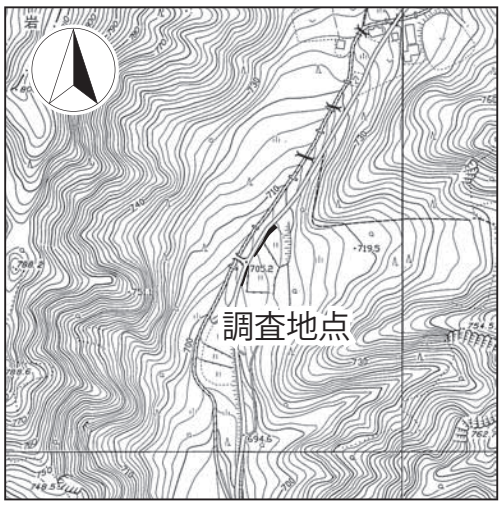


第13図　山根Ⅳ遺跡出土遺物実測図（1/3）

第３表　山根Ⅳ遺跡 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）（cm）	特　　徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考	
13-1	12	縄文土器・深鉢	（5.4）／－／－	外面は２条の横位隆帯と RL 縄文。内面は横位・斜位ミガキ。	良好	角閃石・小礫	褐灰	破片資料（体部）	２トレ
13-2	12	縄文土器・深鉢	（6.4）／－／－	外面は RL 縄文。内面は横位ナデ後横位ミガキ。	良好	角閃石・小礫	褐灰／にぶい褐	破片資料（体部）	２トレ

５．火打花Ⅰ遺跡



（１）所在地　　長野原町大字長野原字火打花645-1 外５筆
（２）開発事業名　林道貝瀬線整備事業
（３）調査期間　　平成22年7月14日～23日
（４）開発総面積　539㎡
（５）調査面積　　69㎡

第14図　調査地点位置図（1/5,000）

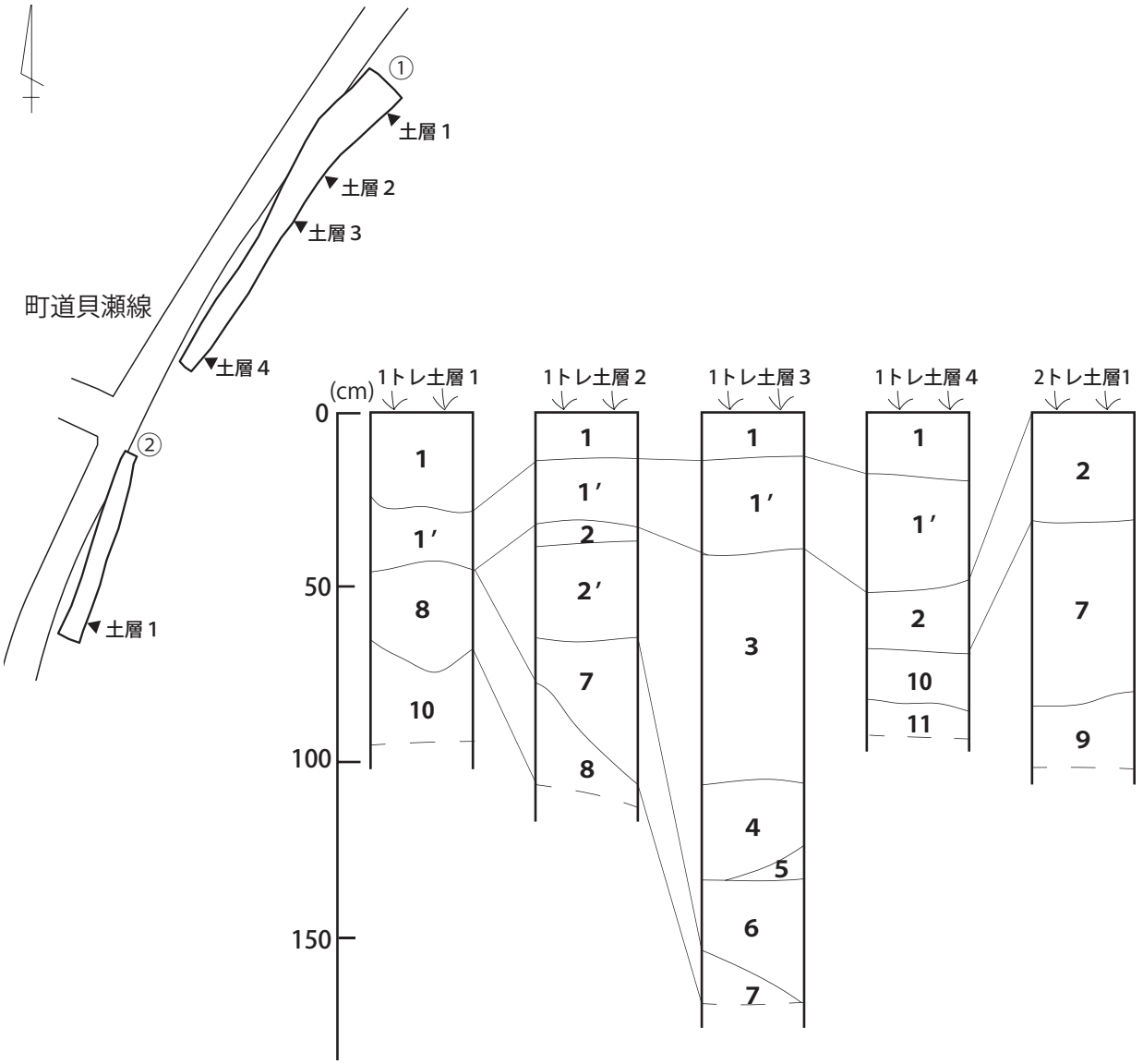
（６）調査概要

対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の西に位置する。標高は704～708m位である。対象地は周知の包蔵地「火打花Ⅰ遺跡（№70）」の範囲内であることから開発事業主と

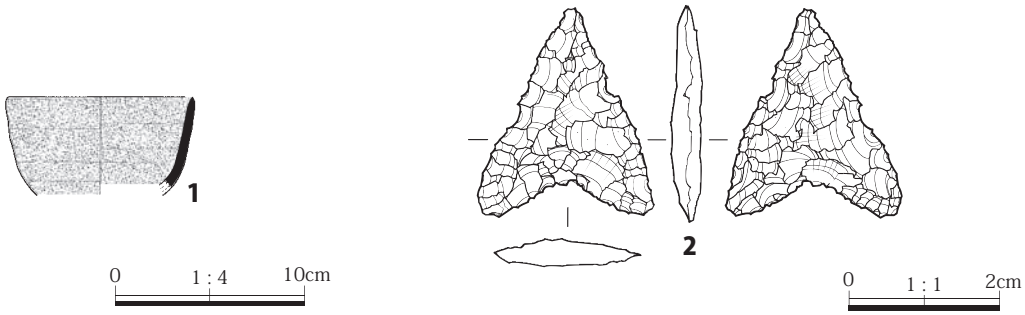
協議し、確認調査を行うこととなった。林道貝瀬線開設予定箇所にトレンチを２本設定して、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。

（７）調査所見

１・２トレとも旧河川跡であることが判明した。１トレの水田石垣の裏込めから尾呂茶碗の破片が出土し、石垣の積み上げが18世紀後半頃（天明期）まで遡る可能性が出てきた。また２トレ南の壁面で黒曜石製の石鏃が出土した。２トレ南側は土層がやや安定していたので今回の調査区より東側の山側に縄文時代の集落が存在することが推測された。以上のように対象地内で顕著な遺構は検出されなかったので、文化財保護的には林道開設工事に支障はないと判断した。



第15図　トレンチ配置図（1/500）・土層図（1/20）

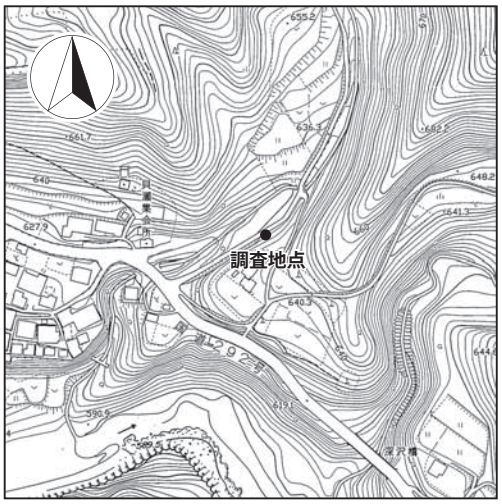


第16図　火打花Ⅰ遺跡出土遺物実測図（1/4・1/1）

第４表　火打花Ⅰ遺跡 出土遺物観察表

挿図No.	図版No.	器種	法量（器高／口径／底径）（cm）	特徴（形態・手法等）	焼成	胎土・材質等	色調（外面／内面）	備考
16-1	13	陶磁器・椀	(5.1)／＜9.8＞／－	尾呂茶碗。ロクロ成形。内外面施釉。	堅致	－	灰オリーブ	口縁部～体部18%残存
16-2	13	剥片石器・石鏃	長2.1／幅1.7／厚0.25	重量0.9g。凹基無茎鏃。	－	黒曜石	－	完形

６．長野原字貝瀬



（１）所在地　　長野原町大字長野原字貝瀬
　　504-2 外５筆
（２）開発事業名　林道貝瀬線整備事業
（３）調査期間　　平成22年10月７日
（４）開発総面積　644.23㎡
（５）調査面積　　6.8㎡

第17図　調査地点位置図（1/5,000）

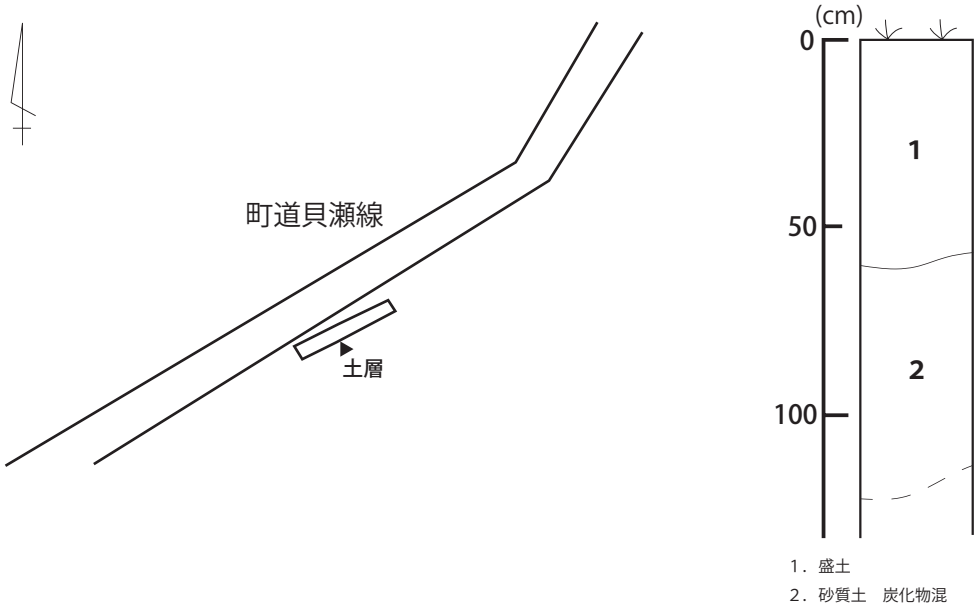
（６）調査概要

対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川との西に位置する。標高は630m位である。対象地は周辺に周知の包蔵地が点在することから開発事業主と協議し、試掘調査を行うこととなった。林道貝瀬線開設予定箇所にトレンチを１本設定して、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。

（７）調査所見

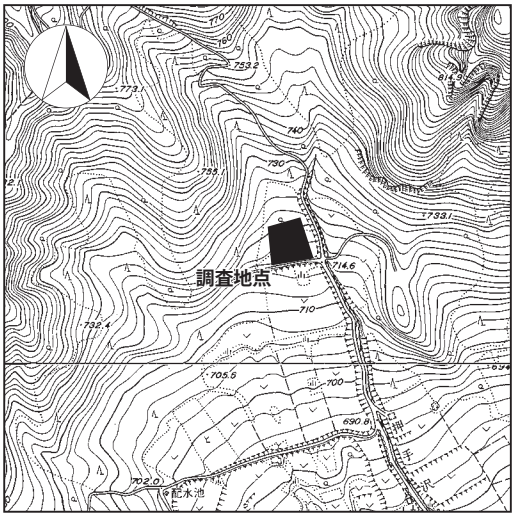
対象地は旧道の石垣部分にあたり、遺構・遺物は確認されなかった。堆積土層も盛土以下は砂質土で以前は河道であったことが予想された。

以上のように対象地内で顕著な遺構は検出されなかったので、文化財保護的には林道開設工事に支障はないと判断した。



第18図　トレンチ配置図（1/500）・土層図（1/20）

7．林字上原



（1）所在地　　長野原町大字林字上原1260-1, 1316-1, -2, -3
（2）開発事業名　配水池建設
（3）調査期間　　平成26年６月23日
（4）開発総面積　659㎡
（5）調査面積　　30㎡

第19図　調査地点位置図（1/5,000）

（6）調査概要

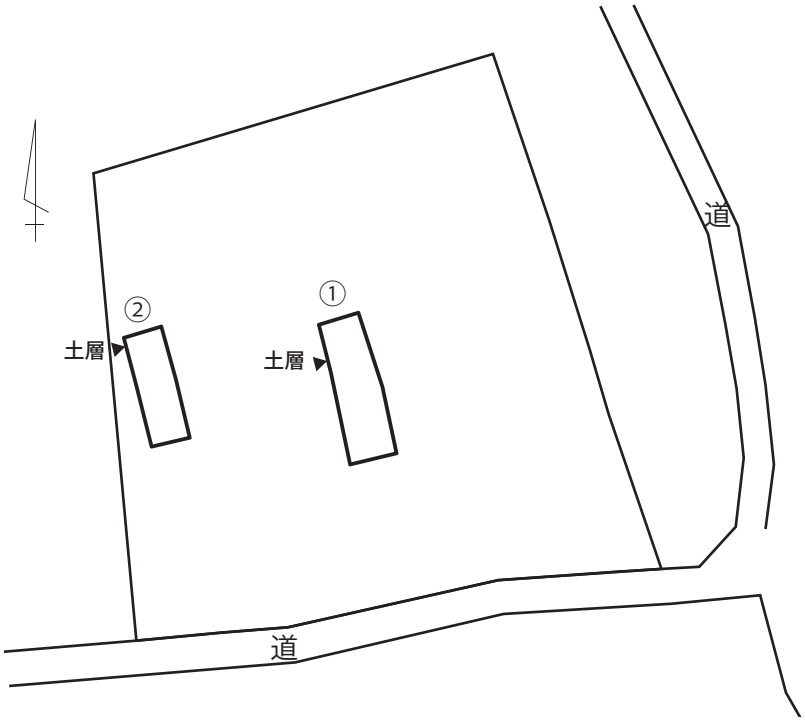
対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の左岸段丘上に立地する。標高は716～720m位である。対象地は周辺に周知の包蔵地が点在することから開発事業主と協議し、試掘調査を行うこととなった。

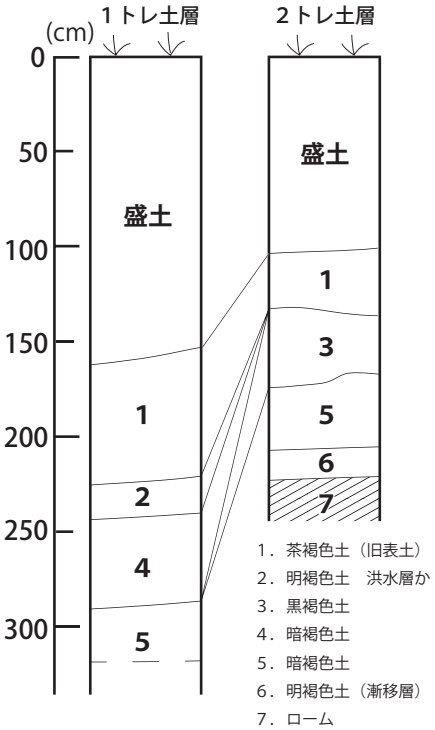
（7）調査所見

配水池予定地内に２本のトレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、２トレで掘り込みが検出されたが断ち割りで植栽痕と判明し、顕著な遺構は確認されなかったので配水池建設工事に際して文化財保護的に支障はないと判断した。

堆積土層はいずれもトレンチ西壁で確認し、１トレは現地表下3.2mまで下げたが地山の関東ローム層が確認されなかったのに対して、２トレでは地山の関東ローム層が表土下2.3mで確認されたので、地山が東側の押手沢に向かって傾斜していることが判明した。前述したとおり２トレ北端で掘り込みが検出されたが遺構と断定するには至らなかった。本調査区南西側で実施した土地改

良事業に伴う発掘調査で平安時代の住居が１軒検出されているので、地山が安定した２トレより西側では平安時代の集落が存在することが予想される。





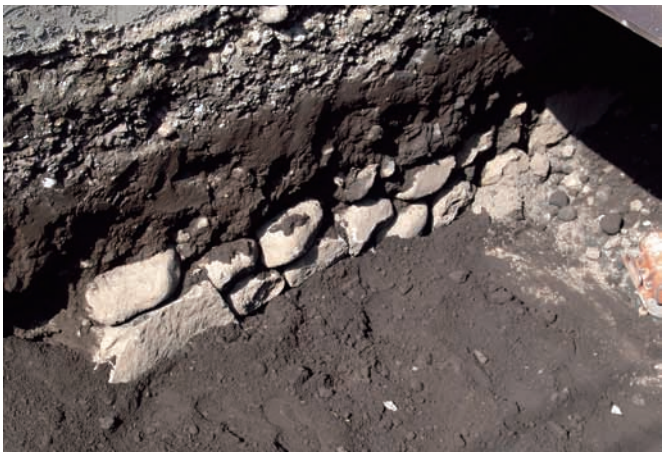
第20図　トレンチ配置図（1/400）・土層図（1/40）

写　真　図　版

１．1-1 地点出土遺物

２．1-2 地点（南東から）

３．石垣検出状況①（南東から）



４．石垣検出状況②（南西から）

－１．長野原字町（1-2・1-3 地点）－

１．石垣検出状況③（南西から）

２．石垣検出状況④（南東から）

３．1-3 地点（南西から）

４．石碑発見場所（南西から）

５．石碑発見場所アップ（南から）

６．泥流堆積状況（東から）

１．湧水状況

２．吊り上げ状況

３．取り上げ状況

４．安置状況①（南から）

５．安置状況②（西から）

－１．長野原字町（1-4・1-5 地点）－

１．1-4 地点（北東から）

２．1-5 地点（南から）

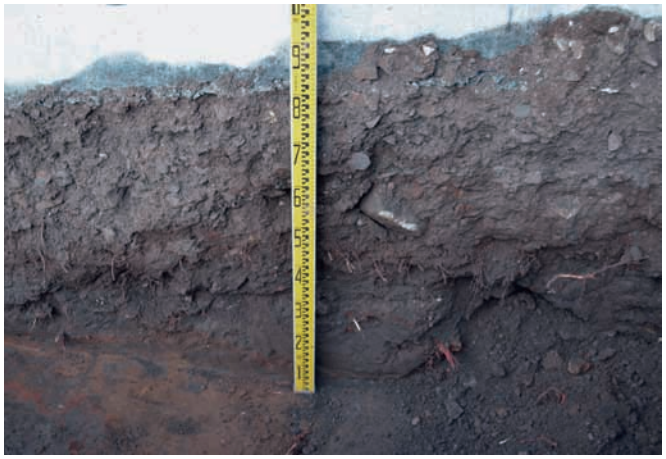
１．1-5 地点出土獣骨

２．1-6 地点（南から）

－１．長野原字町（1-6 地点・出土遺物①）－

1．二次堆積ローム（南から）

2．土層１（南東から）



3．土層２（北東から）

1（1-5 地点）

4．出土遺物①

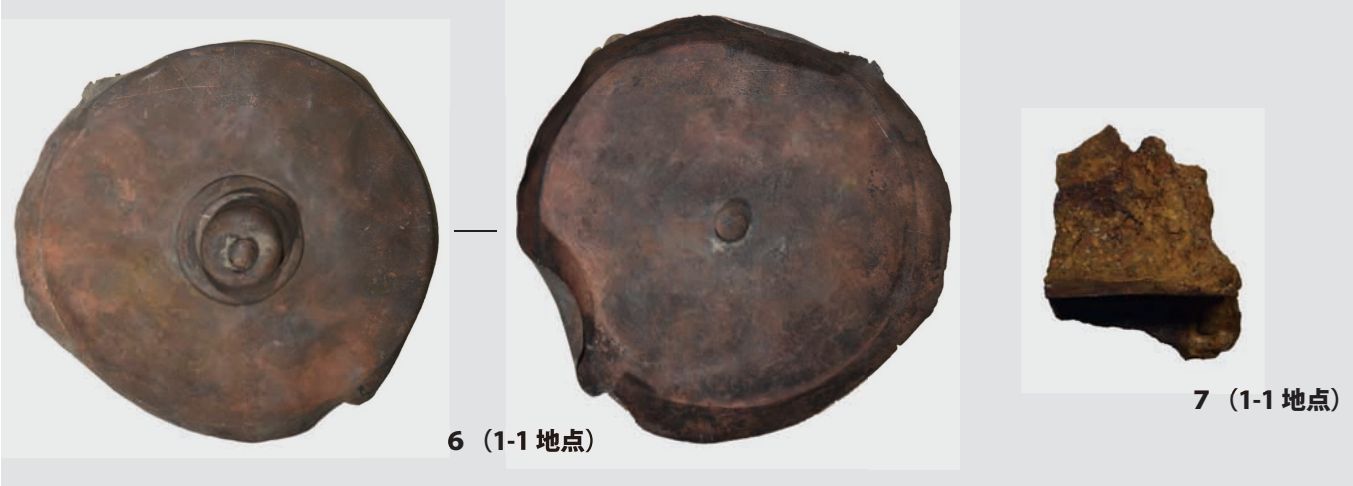
2（1-2 地点）

3（1-2 地点）

4（1-4 地点）

5（1-4 地点）

－１．長野原字町（出土遺物③）　２．長野原字坪井－



１．出土遺物③

２．長野原字坪井（南東から）

３．獣骨出土状況①（南東から）

４．獣骨出土状況②（南東から）

１．横壁字西久保（南から）

２．１トレ（北西から）

３．２トレ（北西から）

４．３トレ（北西から）

５．３トレ泥流・軽石検出状況（北西から）

１．３トレ土層１（南西から）

２．３トレ土層２（南西から）

３．３トレ炭化材出土状況

４．４トレ（北西から）

５．４トレ泥流・軽石検出状況（北西から）

６．４トレ土層（北東から）

７．５トレ（東から）

１．山根Ⅳ遺跡（東から）

２．１トレ（東から）

３．１トレ土層１（南西から）

４．２トレ（西から）

５．２トレ土層（北東から）

－４．山根Ⅳ遺跡・５．火打花Ⅰ遺跡－

１．３トレ（西から）

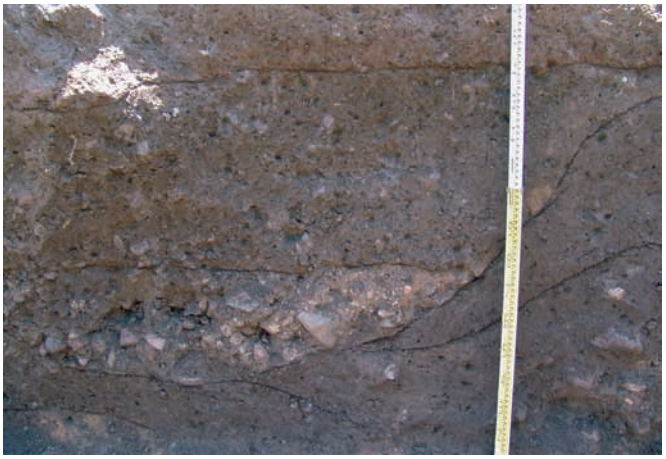
２．出土遺物

３．火打花Ⅰ遺跡１トレ（南西から）

４．２トレ（南西から）

５．１トレ土層１（北西から）

１．１トレ土層２（北西から）



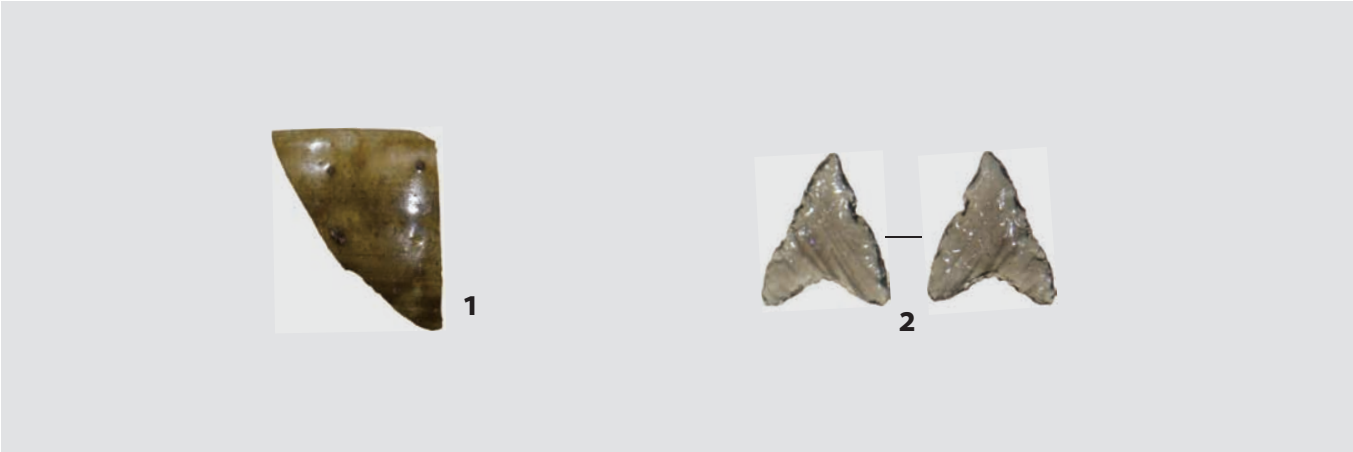
２．１トレ土層３（北西から）

３．１トレ土層４（北西から）

４．２トレ土層１（北西から）

５．遺物出土状況①

６．遺物出土状況②



７．出土遺物

－６．長野原字貝瀬・７．林字上原－

１．長野原字貝瀬（南西から）

２．１トレ（南西から）

３．１トレ土層（北西から）

４．林字上原全景（北東から）

1．1トレ（南から）

2．1トレ土層（東から）

3．2トレ（南から）

4．2トレ土層（東から）

5．2トレ掘り込み（北から）

報　告　書　抄　録

ふりがな	しくつかくにんちょうさしゅうせい
書名	試掘確認調査集成
副書名	水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第９集
シリーズ名	長野原町埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第 45 集
編著者名	富田孝彦
編集機関	長野原町教育委員会
所在地	〒 377-1392　群馬県吾妻郡長野原町大字長野原 1340-1　TEL0279-82-4517/FAX0279-82-3115
発行年月日	西暦 2020 年 3 月 30 日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	市町村コード / 遺跡番号	北緯（世界測地系） / 東径（世界測地系）	調査期間	調査面積 / 開発面積	調査原因	発見遺構 / 保護措置
長野原字町（ながのはらあざまち）	長野原町大字長野原字町（ながのはらあざまち）	10424	365513	160418～251029	－㎡	公営下水道	遺構なし
			138641		－㎡		
長野原字坪井（ながのはらあざつぼい）	長野原町大字長野原字坪井（ながのはらあざつぼい）	10424	365541	170205	－㎡	下水道	遺構なし
			138627		－㎡		
横壁字西久保（よこかべあざにしくぼ）	長野原町大字横壁字西久保（よこかべあざにしくぼ） 40-6	10424	365426	170426	222㎡	町営住宅	近世畑
			138657		2,800㎡		
山根Ⅳ遺跡（やまねよんいせき）	長野原町大字横壁字山根（よこかべあざやまね） 348-1, 346-1, 390-1, 320-1	10424	365381	190710・11	156㎡	町道	遺構なし
		30	138666		2.120㎡		
火打花Ⅰ遺跡（ひうちばないちいせき）	長野原町大字長野原字火打花（ながのはらあざひうちばな） 645-1 外 5 筆	10424	365627	220714～220723	69㎡	林道貝瀬線	遺構なし
		70	138648		539㎡		
長野原字貝瀬（ながのはらあざかいぜ）	長野原町大字長野原字貝瀬（ながのはらあざかいぜ） 504-2 外 5 筆	10424	365575	221007	6.8㎡	林道貝瀬線	遺構なし
			138646		644.23㎡		
林字上原（はやしあざうえはら）	長野原町大字林字上原（はやしあざうえはら） 1260-1, 1316-1, -2, -3	10424	365493	260623	30㎡	配水池	遺構なし
			138673		659㎡		

試掘確認調査集成

水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第９集

令和２年３月23日　印刷
令和２年３月30日　発行

発　行　群馬県吾妻郡長野原町教育委員会
〒377-1392　群馬県吾妻郡長野原町大字長野原1340-1
TEL 0279(82)4517　FAX 0279(82)3115

印　刷　朝日印刷工業株式会社